

指揮

ヴァイオリン

藤岡幸夫 × 南紫音

美しい音色で迎える新たな年。
若き実力派ヴァイオリニストが
綴る名曲の調べ。

YMFG もみじ

ニューイヤー コンサート

モーツァルト

セレナーデ第13番 ト長調 K.525

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

モーツァルト

ヴァイオリンのためのロンド ハ長調 K.373

クライスラー

美しきロスマリン

チャイコフスキー

「なつかしい土地の思い出」Op.42 より「メロディ」

サラサーテ

ソイゴイネルワイゼン Op.20

ドヴォルザーク

交響曲第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」

管弦楽

広島交響楽団

©青柳聡

©Shuchi Tsunoda



2018.1.6 土 15:00開演 [14:00開場]

広島文化学園HBGホール (広島市文化交流会館)

料金 (全席指定)

S席=(前売り)¥3,500 (当日)¥4,000 A席=(前売り)¥3,000 (当日)¥3,500

B席=(前売り)¥2,500 (当日)¥3,000 学生券(B席)¥1,000(当日販売のみ、要学生証)

チケット販売所

◎エディオン広島本店プレイガイド(サンモール1F) 082-247-5111

◎福屋八丁堀本店プレイガイド 082-246-6911

◎福屋広島駅前店チケットサロン 082-568-3942

◎中国新聞社読者広報部 082-236-2455

◎中国新聞販売所(取り寄せ)

◎ローソンチケット(Lコード 63227)

◎電子チケットびあ(Pコード 345-129)

※乳幼児等就学時前のお子さまのご入場はご遠慮ください。



©Shin Yamagishi

指揮 藤岡 幸夫

Sachio Fujioka, conductor

関西フィルハーモニー管弦楽団 首席指揮者。

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1993年BBCフィルの定期演奏会が「タイムズ」紙などで高く評価されると、1994年にロンドン夏の風物詩「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー。大成功を収め、以後ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル等多くの海外オーケストラに客演。スペインでのオペラ公演デビューとなった2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場プリテン「ねじの回転」がその年の同劇場の新演出オペラのベスト・パフォーマンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれ、2009年にはR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び脚光を浴びた。2016年3月にはブリュッセルでオーギュスタン・デュメイ、ヴァレリー・アフアナシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立交響楽団にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆総立ちの大成功を収めた。

マンチェスター室内管弦楽団首席指揮者、日本フィル指揮者を経て、現在関西フィル首席指揮者。毎年40公演以上を指揮し2017年で18年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は、常に聴衆を魅了し高い評価を得ている。

英シャンドスと契約し、これまでにBBCフィルと8枚のCDをリリース。関西フィルとはALM RECORDSにシベリウス交響曲全曲録音を進行中。

大晦日のテレビ東京系全国ネット「東急ジルベスター・コンサート」に2回、「題名のない音楽会」など、テレビ、ラジオへの出演にも幅広く活躍。2017年10月に放送4年目を迎えるBSジャパン「エンター・ザ・ミュージック」(毎週月曜23:00~)の立ち上げに参画し、指揮・司会として関西フィルと共に出演中。2017年8月に滋賀県長浜市のPR大使に就任。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



©Shuichi Tsunoda

ヴァイオリン 南 紫音

Shion Minami, violin

南紫音は、2005年ロン=ティボー国際音楽コンクールにおいて第2位を受賞、2015年には、難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールで第2位を受賞し、最も期待されている若手実力派ヴァイオリニストの一人である。

1989年北九州市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。これまでに篠崎永育、篠崎美樹、西和田ゆう、原田幸一郎の各氏に師事。現在、ドイツのハノーファーに在住し、クシシトフ・ヴェグジンに師事。

2000年、第54回全日本学生音楽コンクール福岡大会小学校の部第1位。同年、第10回日本クラシック音楽コンクール全国大会小学校の部第2位(1位なし)。2002年、第56回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部第1位。2004年イタリア・ナポリで行われた第13回アルベルト・クルチ国際ヴァイオリン・コンクールで15歳にして優勝。2005年イタリア・デビューを果たす。同年10月、ロン=ティボー国際音楽コンクール第2位を受賞すると共に、リサイタルで最も優秀な演奏をした者に贈られる「サセム賞」も受賞した。2015年には、世界でも難関で知られるハノーファー国際ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位を受賞した。

これまでに国内主要オーケストラをはじめ、フランス国立管弦楽団、リール国立管弦楽団、サンカルロ歌劇場管弦楽団、ミラノ・スカラ座室内合奏団とも協演、スペイン・ビルバオ交響楽団との日本ツアーも好評を博した。

2011年12月、クラシック音楽界初の公式アプリ「南紫音のヴァイオリンへの扉」の無料配信もスタートし話題を集めた。

CD録音も積極的に行い、2008年3月にユニバーサルミュージックの新レーベル「UCJジャパン」の第一弾アーティストとしてCDデビューも果たし、これまでに3枚のCDをリリースしている。

2005年北九州市民文化奨励賞、2006年福岡県文化賞受賞。2010年第11回ホテルオークラ賞受賞。2011年第21回出光音楽賞受賞。

広島交響楽団

Hiroshima Symphony Orchestra

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1970年に名称を「広島交響楽団」とし、1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラとして活躍の場を拡げている。2017年より下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。日本各地はもとより、ウィーン、プラハ、フランス、ロシア、韓国、などで海外公演も行なうなど、各地で平和と希望のメッセージを発信し続けている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズ、「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約140回を超える演奏活動を行っている。2015年8月、被爆70年として広島とサントリーホール(広響初)で行われた「平和の夕べ」コンサートでマルタ・アルゲリッチと協演し、大成功をおさめた。2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、「P3HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp>

会場: 広島文化学園HBGホール(広島市文化交流会館)

〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL:082-243-8881

アクセス

バス: JR広島駅 南口Aホーム3番のりば 広島バス 24番 吉島線で25分 「加古町」下車すぐ
路面電車: 広島電鉄江波線「舟入町」電停より徒歩5分 / 広島電鉄宇品線「市役所前」電停より徒歩12分

主催=もみじ銀行・中国新聞社 お問い合わせ=もみじ銀行経営管理部 広報 TEL:082-241-3043

